

王子製紙真岡工場跡
(サハリン・ホルムスク、平井健文撮影)



“People, things, images”
Left behind by Empire

ワークショップ

「帝国に残された
人・物・映像」

第一部 日本帝国の歴史遺産 (13:00～)

松井 理恵(北星学園大学非常勤講師)

「歴史的環境保全とコミュニティの経験

—韓国・大邱における北城路近代建築物リノベーションを事例として—

平井 健文(北海道大学博士課程)

「帝国の記憶の再表象に対する抵抗の可能性:

サハリンに残る日本統治下の製紙工場群を事例に」

上水流 久彦(県立広島大学)

「台湾の日式建築物の現在～他国との比較から」

コメント パイチャゼ スヴェトラナ(北海道大学)

進行 藤野 陽平(北海道大学)

第二部 日本帝国に残された映像 (15:15～)

松本 ますみ(室蘭工業大学)

「華北交通写真のジェンダー表象」

池川 玲子(大阪経済法科大学客員研究員)

「映画監督坂根田鶴子の1940年代 北海道から「満洲」へ」

コメント 富成 絢子(北海道大学)

進行 玄 武岩(北海道大学)

全体討論 (16:45～)

進行 藤野 陽平(北海道大学)

2017年2月19日(日)
13:00-17:30
北海道大学情報教育館3階
スタジオ型多目的中講義室
(札幌市北区北17条西8丁目)



リノベーションされた
植民地時代の建物
(韓国・大邱、松井理恵撮影)

主催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院

共同研究補助金「帝国解体と女性：断絶／連続する脱植民地の生活世界」プロジェクト

問い合わせ：パイチャゼ スヴェトラナ e-mail / svetaalvarez@imc.hokudai.ac.jp